

## 交通空白解消のための調査事業について

(裾野市 都市計画課)

### 1 事業の背景と目的

今年度、地域公共交通計画に基づき、「地域に合った移動手段の検討・導入」を図るため、当市の公共交通における課題の洗い出しが必要である。このため、国の補助事業を活用し、市内全域のビッグデータを用いた分析を行い、市民の日常移動の範囲や主要施設の利用傾向と現状の公共交通網とのギャップを可視化し、当市に適した公共交通の在り方を検討する。あわせて、公共ライドシェアなど新たな公共交通システムの実証運行を実施する。

分析調査及び新たな公共交通システムの実証の費用については、国土交通省で新設された「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(「交通空白」解消緊急対策事業)の補助を活用。

### 2 事業時期

事業実施期間 令和7年8月1日～令和8年2月27日

年度内で調査から実証運行まで実施する。

### 3 事業内容

- (1) 住民・交通事業者との意見交換会(ワークショップ等)
- (2) 基礎調査/ビッグデータ分析
- (3) 導入計画案の作成
- (4) 運行計画検討
- (5) 実証運行実施
- (6) 本格導入にあたっての検討

- ・ビッグデータを活用し、住民の移動傾向を把握する。
- ・交通空白地域を対象としたデマンド交通、公共ライドシェア等を候補として実証運行を行う。

### 4 調査業務委託事業者

- ・MONETTechnologies 株式会社